

製品名: プレアルブミンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87748**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:16 kDa; Observed MW:16 kDa

抗原情報

遺伝子名	Prealbumin
別名	CTS; ATTR; CTS1; PALB; TBPA; HEL111; HsT2651
遺伝子 ID	7276
SwissProt ID	P02766
免疫原	ヒトプレアルブミンの合成ペプチド

背景

この遺伝子は、α1-アンチトリプシン、トランスサイレチン、オロソムコイドを含む3種類のプレアルブミンのいずれかをコードしま

す。コードされているタンパク質であるトランスサイレチンは、ホモ四量体キャリアタンパク質であり、血漿および脳脊髄液中で甲状腺ホルモンを輸送します。また、レチノール結合タンパク質と結合することにより、血漿中のレチノール（ビタミン A）の輸送にも関与しています。このタンパク質は、タンパク質分解、神経再生、オートファジー、グルコース恒常性維持など、他の細胞内プロセスにも関与している可能性があります。この遺伝子の変異はアミロイド沈着と関連しており、主に末梢神経または心臓に影響を及ぼしますが、遺伝子変異のごく一部はアミロイド非形成性です。これらの変異は、アミロイドーシス性多発神経炎、甲状腺機能正常性高甲状腺ホルモン血症、アミロイドーシス性硝子体混濁、心筋症、眼瞼髄膜アミロイドーシス、髄膜脳血管アミロイドーシス、手根管症候群など、いくつかの疾患の病因に関与していると考えられています。[RefSeq 提供、2017 年 8 月]

研究分野

画像データ

Human plasma

kDa

180 -
130 -
100 -
70 -
55 -
40 -
35 -
25 -



プレアルブミンウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト血漿組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。